

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北関東)	良くなる	商店街（代表者）	・大河ドラマ館の入館者予約が想定を大きく上回る状態が続き、過去の記録を上回りそうである。
		コンビニ（経営者） その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・7～8月はイベント等も多いため、来客増が見込まれる。 ・万が一に備えた予約が2けたになっている。また、仏壇やお墓の問い合わせも増え、実際に注文も入っている。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・猛暑が予想される夏に向け、エアコン、冷蔵庫等、白物家電の動きが多少活発になる。
		スーパー（副店長）	・夏休みの帰省客や、夏祭りなど各地でイベントも多く開催されるので、少しでも景気が上向くと期待している。
		コンビニ（経営者）	・来客数、販売高、売上高において、例年7～8月が年間ピークである。梅雨の具合やエルニーニョの影響もあるかと思うが、いずれにしても先行きは良くなる。
		衣料品専門店（統括）	・街のにぎわいはなかなか戻らない。土日になると人出がめっきり減り、全然活気が出て来ない。イベントを開催しても、その場だけは人出があるが、広がりには欠ける。例年通りであれば、これからお祭り用品を買いに来る客が増えるので期待している。
		家電量販店（店長）	・夏場の猛暑でエアコンと冷蔵庫が好調に推移すれば期待が持てる。また、映像関連品はリオデジャネイロオリンピックでの需要が期待できる。
		スナック（経営者）	・本当に悪い時期は、客からも景気が悪いなどという話がよく出るが、そういう話題があまり出なくなっているため、全体的にも少しずつ良くなっているのだろう。本当に少しずつの回復なので、消費税増税はもうしばらく勘弁してもらいたい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・前年比で来客数の伸びが悪かったが、ここ2週間の問い合わせに対する単価交渉で客数が伸びてきている。宴会関係に関しては5,000～6,000円台で踊り場の様相を呈している。
		旅行代理店（従業員）	・このままガソリン価格の上昇がなく、世の中が平和であれば、景気はやや良くなる。
		旅行代理店（営業担当）	・7～8月の夏季繁忙期を迎えるため、販売量が増加する。
		観光名所（職員）	・インパウンドの国別の入込状況が変わってきている。従来は台湾人観光客が多かったが、タイ、インドネシア、韓国からの観光客も多くみられるようになってきている。
		美容室（経営者）	・気温が上がって、髪の毛を切りたい人が増えてきているため、少しずつ良くなる。
		その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・地元古社の式年祭が終わり、旅行の予約が入ってきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・店先へ夏物を出しても、客が購買意欲を喪失しているかのように思える。この先盛夏を迎えるが、心配している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・七夕セールが間近になってきているが、今のところ景気が浮揚するような材料が何も見当たらない。現政権に期待している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・目新しいもの、珍しいものに飛びついたり衝動買いをすることはなく、必要な物以外に出費しない様子がうかがえる。今年も猛暑予想が出ているが、消費意欲が出てこない限り、その時が来ないと状況が見えない。
		百貨店（営業担当）	・特に製造業が多い県のため、中国経済の景気の下振れ影響により、全体的に景気が良いようには思えない。当然、個人消費も上がってくる状況ではない。
		百貨店（営業担当）	・主力カテゴリーである衣料品の不振は、今後も継続するものとみている。衣料品そのものの買換えや買増しを喚起する要素に乏しい。一方で、食品やリビング関連は堅調に推移し、トータルでは3か月先も変わらない。
		百貨店（店長）	・来客数が変わっていない。
スーパー（経営者）		・大きな変動はない。	
スーパー（総務担当）		・気温次第で、猛暑になれば上がってくるかもしれないが、単価が下がっている現状からは来客数が増える理由もなく、今後も厳しい状況が続く。	
スーパー（統括）	・預金の超低金利に対する消費者の対策から、電子マネーのわずかなチャージ特典への反応は非常に顕著であり、消費税増税の不透明感とも相まって、消費マインドの抑制はしばらく続く。		
スーパー（商品部担当）	・ここ数か月の来客数、客単価などに大きな変動が見られず、客の様子も節約傾向が続いているので、景気の先行きは変わらない。		

コンビニ（経営者）	・ここ数日夏日が続いて来客数が増加しているが、景気の先行きは今後も変わらない。
コンビニ（経営者）	・店舗周辺の事務所移転で、昼の常連客が10～15名減少したが、駐車場を拡張したので、車での来客増が期待できる。
コンビニ（店長）	・5月の最終日曜と月曜の来客数は、悪天候の影響からかひどい状況であった。2～3か月後の夏祭りの時期は平年並みを期待している。営業面よりも、パート、アルバイトの時給を上げて応募がなく、教育しても続かない、ドタキャンが多いなど、人事面のほうが問題で、廃業がちらついている。
コンビニ（店長）	・近所にまた大型店舗ができるようなので、その影響も若干あると思うが、それぞれ客からの使われ方が違うと思うので、あまり変化はない。
家電量販店（営業担当）	・リオデジャネイロオリンピック前であるが全く盛り上がりがなく、期待できない。
乗用車販売店（経営者）	・思い切った景気対策でもない限り、客の購買意欲は上がらない。
乗用車販売店（販売担当）	・車の修理や販売をしているが、来客数が何か月も前から徐々に減り始め、この2～3か月は本当に来客数が少ない。客を呼ぶために、キャンペーンなどいろいろ行っているが、本当に必要な物しか修理せず購入しない状況なので、先行きは変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・当社としては催し物を行ったり、勧誘やダイレクトメールを送ったり、いろいろと努力はしているが、消費意欲が冷え切っているのか、どんなに手を尽くしても販売につながらないのが現状である。今後2～3か月先が良くなるかといっても、とにかく先が読めない。
自動車備品販売店（経営者）	・ここ2～3か月、客の財布のひもが固く、消極的な傾向が続いている。消費税増税も再延期となる見込みのため、安心感から、お金を使う計画が立つのではないかと予測している。政治的な仕組みが徐々に変わるような流れで行くと、商業の形態も変わらず良いのではないかと。
住関連専門店（経営者）	・アベノミクスで、財務からの矢が放たれて、一時的に景況感の高揚があるような報道もあったが、地方経済にはいまだ還元されておらず、停滞感がある。効果的な経済政策を打ち出すことは現状では困難である。
住関連専門店（店長）	・良くなる材料も悪くなる材料もない。
住関連専門店（仕入担当）	・今後も節約志向は継続すると思われる。特に日用消耗品についてはその傾向が顕著で、利益の確保がますます厳しくなる。
一般レストラン（経営者）	・相変わらず夜の飲み客の動きは鈍く、昼の県外客に期待するも、ゴールデンウィーク明けの影響が不安材料である。
一般レストラン（経営者）	・地方の消費者は中小企業に勤めている人が多いので、なかなか所得の水準が上がらず、非常に消費傾向が悪い状況である。
一般レストラン（経営者）	・根ざしてしまっている不景気感は簡単には変わらない。
一般レストラン（経営者）	・熊本地震による自粛ムードがなくなり、今月同様やや良い状態で推移する。夏が高温になりすぎると客足に悪影響が出てくる。
都市型ホテル（営業担当）	・ホテルの動向を見ている限りは、3か月後の伸びはあまり感じられない。減退する傾向も見えないため、先行きは変わらない。
都市型ホテル（副支配人）	・お盆前までの予約状況を見る限りでは、順調に売上が伸びていきそうではあるが、秋以降の受注が停滞しているのが気になる。
旅行代理店（所長）	・参議院選挙もあり、需要は期待できない。相変わらず日帰り旅行者は多いものの、宿泊需要については厳しい。
タクシー運転手	・最低の状況が続いているので変わらない。
タクシー運転手	・昨年12月以降ずっと前年を割っている。市内のタクシー会社がすべて同じような傾向で、前年比95%前後で推移している。
タクシー（経営者）	・1～5月までが悪いので、この先も変わらない。
通信会社（営業担当）	・賞与の時期になるが、例年並みの推移にとどまると思われる。レジャーなど海外に向けての消費は今後伸びていく。
テーマパーク（職員）	・参議院選の予定などから、観光客の動きも鈍く思える。
遊園地（職員）	・国内消費の停滞感がある現状通りの推移となりそうである。
ゴルフ場（支配人）	・梅雨時期の6月期であるが、単価の安い企画料金を設け、集客を図る。土日の予約は順調である。

	<p>その他サービス [立体駐車場] (従業員)</p> <p>その他サービス [イベント企画] (職員)</p> <p>設計事務所 (経営者)</p> <p>設計事務所 (所長)</p> <p>住宅販売会社 (従業員)</p>	<p>・夏の参議院選が近付いているので、それに応じて若干の動きはあるかもしれないが、依然予約状況等含め横ばいのため、来客数、単価共に横ばいで推移する。そのため景気も横ばいと思われる。</p> <p>・イベント開催は当日の天候に左右されるが、景気的にはあまり変化がない。</p> <p>・新たな物件の情報は民間も官公庁も少ない。</p> <p>・今月も予算達成の見込みのため、悪くはならない。変わらないというか維持できたら良いと思っている。</p> <p>・別荘の売却依頼が増加傾向にある。</p>
やや悪くなる	<p>商店街 (代表者)</p> <p>商店街 (代表者)</p> <p>一般小売店 [衣料] (経営者)</p> <p>一般小売店 [乳業] (経営者)</p> <p>百貨店 (販売促進担当)</p> <p>衣料品専門店 (販売担当)</p> <p>乗用車販売店 (経営者)</p> <p>乗用車販売店 (経営者)</p> <p>乗用車販売店 (営業担当)</p> <p>その他専門店 [燃料] (従業員)</p> <p>観光型ホテル (経営者)</p> <p>観光型旅館 (経営者)</p> <p>都市型ホテル (スタッフ)</p> <p>旅行代理店 (副支店長)</p> <p>タクシー (役員)</p> <p>通信会社 (経営者)</p> <p>通信会社 (経営者)</p> <p>ゴルフ場 (総務部長)</p> <p>競輪場 (職員)</p>	<p>・来年4月に消費税が再増税または現状維持のどちらにしても、客はシビアなので、景気の回復は見込めない。</p> <p>・いろいろな商品の仕入単価が上昇している。また、日常の食品等もかなり値上がりしてきており、客はなかなか余計なものを買わなくなるため、これからもっと厳しくなる。</p> <p>・観光客は来ているが、全体的に悪くなっている。</p> <p>・高齢者向け給付金の効果も皆無である。消費意欲の減退はまだまだ続く。</p> <p>・経済動向が改善する要因が見当たらない。消費税増税の再延期の報道が出始めたが、消費マインドの改善には至らない。</p> <p>・2～3か月前に比べ、悪いなかでのどん底で推移すると思っていたが、このところますます底なしと思えるほど、徐々に悪くなっている。1日の来客数が、次の日にはまた1人減り、というように徐々に減少していっている上に、客単価も低下し続けており、先行きは相当厳しい状況となりそうである。</p> <p>・8月は夏休みがあり、例年受注が悪い。</p> <p>・政治にしても経済にしても、また社会の動きにしても、何か活力に乏しい。大手スーパー中心で、街の小売店には客をほとんど見かけない。街全体が脱力感に覆われているような気がする。</p> <p>・自動車の販売だけでなく、歴史ある板金塗装修理工場が、材料費の高騰等もあり相次いで閉鎖するなど、ディーラー集約が強くなってきている。</p> <p>・販売量は毎月減少している。例年9月ごろまで減少しているが、前年比でみても一段と減少している。</p> <p>・観光業界は、選挙と絡むと必ず来客数が減少する。更に、インバウンドが一段落することと、猛暑予想の関係で、当地区への来客数に関しては、悲観的な予想を立てている。</p> <p>・熊本地震以降、旅行の動向がやや鈍ってきている。6月の予約が伸びていないため、2～3か月先の景気の動向はやや鈍る。今年は猛暑の予想があるため、暑くなると避暑の客が増えるかもしれないが、現状では先行きの景気は鈍化傾向である。</p> <p>・大きな問題として消費税再増税があるが、消費者の財布のひもはまだ固く、なかなかお金を落としていかない。企業も、特に大きなイベントはないので、まだ落ちていく。</p> <p>・企業等の景気に陰りが見え始めているのか、今後の受注状況が前年同時期に比べ6割程度であり、個人受注も発生が遅く少ない。熊本地震の影響により九州方面への旅行も激減しており、代替案に移行ができない。夏休み等の動向が懸念される。</p> <p>・今後の地元自動車工場の生産状況によって見極める。</p> <p>・やはり地方においては、高齢化及び人口減が最大の要因である。消費者の主眼が、必要最低限の物を少しでも安く買うことでは、消費の改善は見込めない。加えて、その消費者さえ減少していくとなれば、先行きに不安を感じずにはられない。こうした状況で、企業が設備投資を控えるのは当然である。</p> <p>・節約志向が強くなってくると、景気も悪化する傾向があり、状況は相変わらず厳しい。</p> <p>・予約状況が今月や前年同時期と比較して少ない。</p> <p>・全国発売の記念競輪の売上が、前年度比で減少している。</p>

		美容室（経営者）	・美容院の経営者自体が子どもに後継を託そうと望まなくなっている。美容学校への入学者の親はほとんどが美容とは無関係である。店舗数が需要よりも過剰になり、そのために過当競争、価格の激安化で利益が保持できず、業種として難しくなりつつある。流行らない店が大多数で、少数の店が潤う格差がはっきりしてきている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・地方の活気が回復する材料がない。少子高齢化が後押しし、景気は更に後退する。
		設計事務所（所長）	・今月出た前年度決算が悪い。今の仕事も7月には一段落し、8月には着工予定だが、8月からの仕事がまだ決まらない。
	悪くなる	百貨店（店長）	・当社のような地方百貨店では客単価が低下している。客の財布のひもは固い。
		乗用車販売店（管理担当）	・いつ国土交通省からの再認可が下りるのか、いつ生産再開になるのか分からない。
		スナック（経営者）	・悪くなるというか、良くなる要素が見つからないというような状態である。何か良い方法がないか。
		通信会社（経営者）	・まだこの状況から立ち直れる兆しは見えない。商店街等では、今年度に組織の解散を考えているところも多く、多難が続く。
		通信会社（店長）	・販売にかかる経費負担がさらに増加する。
		住宅販売会社（経営者）	・選挙公約などに影響され、良い方向に向かう要因に乏しい。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車完成メーカーの輸出量が増加する。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・太陽光発電設備の増設が大幅に進んでいる。
(北関東)	やや良くなる	食料品製造業（営業統括）	・伊勢志摩サミットで県産ワインが使用された影響による特需を見込んでいる。ワインリゾート構想推進協議会が発足し、有名人やソムリエの起用、ワイン列車の運行、ワイナリーツアーなどを計画しており、かなりの効果が見込まれる。
		金属製品製造業（経営者）	・見積の依頼が多い。
		一般機械器具製造業（経営者）	・油圧建機分野での動きは低調が続くものの、夏から自動車分野で新規立ち上がり案件がいくつかあるため、売上は上向き。
		輸送業（営業担当）	・今夏は暑い日が多くなりそうな天候予想のため、特にエアコン、扇風機等の季節家電、また飲料水等の物量が予定より増加する見込みである。
		広告代理店（営業担当）	・今年の夏は例年よりも暑くなるとの予想から、家電、レジャー関連などの個人支出が増えると思われる。人出を見込んでの集客イベント等も活発になる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現状の受注量、商談件数から見ても、今後の収益増加が見込める。
	変わらない	食料品製造業（製造担当）	・販売点数は大きくは落ち込まないが、特売で販売しても利益は出ない。原料価格はいまだに高止まりしている状況で、もう少し下がってこないと体力的に厳しい。
		一般機械器具製造業（経営者）	・毎月受注量が微減傾向にあるが、それが止まり、横ばいになるとの情報が入っている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・通常でも今の時期は悪いが、いつになく悪くなっている。例年9月ごろから受注量は伸びてくるが、それは毎年のことなので、景気の変動とは言えないと思う。依然として、非常に厳しい状況に変わりはない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現状が何とか続けばよいが、3か月後は見通せない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・若干の回復傾向にあるものの、決して良い状況にはなっていない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先、競争相手の様子を見ると、暇なところは相変わらず暇であるし、忙しいところは忙しいという二極化が進んでいる。今後2～3か月先はどうなるか分からない。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
		建設業（開発担当）	・現政権のもと、3年間公共工事は順調に推移している。前政権では工事業は悪者扱いされ、廃業する建設業者も多く、緊急時の出勤や災害時の対応が厳しくなっている。また、建設業に魅力がなくなり、作業員の減少や高齢化が進んでいる。当社も若年層の割合が少ないため、今後は若年層にも魅力のある企業になる必要がある。また、経済政策が打ち出されている公共工事の前倒しに期待している。

		金融業（調査担当）	・海外経済の不安定な状況が続く見通しであり、製造業の動きに大きな変化はない。
		金融業（経営企画担当）	・取引先の小売業によると、客は必要以上の買物をしていない様子がうかがえ、今のところ今後の景気浮揚は感じられない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・来月、再来月と市内にスーパーが2軒新規オープンする。そのうち1件は初出店でもあり、期待されている。
		経営コンサルタント	・賞与などの支給状況によっては、例年並みの消費等が期待できる。
		司法書士	・半年後くらいに動き出すやや大きめの仕事の相談が来ているので、少し期待をしているが、その仕事が継続してあるかは分からない。
		社会保険労務士	・企業規模にかかわらず、今回の賞与は期待できなさそうなので、今の状況がさらさらと続く。
やや悪くなる		化学工業（経営者）	・引き合いが少なく、あってもなかなか受注に至らない物件もあり、先の受注量が予想より少ない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・夏向け体験イベント教室の予約等は動き出しているものの、主力品の生産受注が悪化しており、予想すら立たない状況である。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・今のところ動きもなく、良くなる様子もない。
		建設業（総務担当）	・良い材料が全く聞こえてこない。先行きが大変不安である。
悪くなる		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月のことだが資金繰りが大変である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・6月に行われる主要取引先の上期生産動向説明会の内容を把握するまでは不透明な状況であるが、事前に聞いた情報では、厳しい状況が続くとの見方がある。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・どの店舗でも4月が売れていないことから、出張販売は更に厳しさを増していく。暑くなるに従って、ジュエリーもライト感覚のものが中心になるため、売上減につながると予想している。夏物の新作サンプル出しをしてもなかなか採用に至らず、先行きが見えない。
		通信業（経営者）	・受注額がかなり減少している。
		不動産業（管理担当）	・長年受託してきた業務が見直しによりなくなるため、その分減少が見込まれる。新規受託業務の話もあるが、まだ検討段階なので先行きは不透明である。
雇用関連	良くなる	-	-
(北関東)	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・観光関連施設のメンテナンス等の業務が多く、取引先から、外国人観光客の入込が好調であり、まだまだ続く気配であるという話を聞いている。役所関係、その他の仕事については、固定額で受注しているところが多いため評価できない。
		人材派遣会社（管理担当）	・暑くなり、麺類の製造派遣が増える。
		職業安定所（職員）	・会社都合の離職者が減少している。
変わらない		人材派遣会社（経営者）	・自動車関連等の機械部品、農機具部品、電機関係部品といった製造業が、8月に向けて生産ラインは維持される。サービス業では、介護士や保育士について、入れ替わりに伴う募集が継続して行われる。梅雨時には恐らく増改築が少なくなると思うので、幾分落ちる。衣料、食品を中心として、購買力は多少伸び悩むところもあると予想する。
		人材派遣会社（経営者）	・今は仕事の動きがない。
		人材派遣会社（支社長）	・人の動きが無ければどうしようもないので、恐らく例年どおりお盆前後までは現状が続く。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・景気の先行きが不透明で、企業も採用を控えているので、今後もあまり期待できない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・今年度も、求人が出る前に求職者が企業にアタックをしていると考えられるため、表に出てくる求人は少ない。学生が選ぶ求人と、企業の求人職種にミスマッチがある。学生が考え方を変えないと、就職が決定しない大学生や専門学校生が、例年のように多くなる。
やや悪くなる		人材派遣会社（営業担当）	・収入が上がらず消費意欲がわからないため、良くならない。
		職業安定所（職員）	・例年、5月を過ぎると求人倍率も下がってきて、大きな動きが見られなくなる。景気は安定してきているが、天災や大手自動車メーカーの燃費不正問題等、良い要素がなく、特に県内のイベントもないので、少し下がっていく。
悪くなる		-	-